

[2024年7月1日修正]

# 北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科

一般選抜・社会人特別選抜 夏期日程

博士前期(修士)課程 学生募集要項

2024年度 10月入学

2025年度 4月入学



# 目 次

《アドミッションポリシー》 .....	1
1. 実施日程.....	4
2. 募集人員.....	4
3. 出願資格.....	5
4. 出願手続.....	7
5. 選考方法および試験科目.....	11
6. 試験会場.....	14
7. 受験上の注意.....	14
8. 合格発表.....	14
9. 入学手続.....	14
10. 入学に関する経費 .....	15
11. 授業料 .....	15
12. 長期履修学生制度 .....	15
13. 安全保障輸出管理について.....	16
14. その他.....	16
《授業科目の概要》 .....	17
《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》 .....	22
○環境システム専攻	
資源化学システムコース.....	23
バイオシステムコース .....	24
環境生態システムコース.....	25
○環境工学専攻	
機械システムコース.....	26
建築デザインコース.....	27
○情報工学専攻	
計算機科学コース .....	28
融合システムコース.....	29

## 《各種様式》

- 入学願書 (様式 1)
- 受験票 (様式 2)、写真票 (様式 3)、宛名カード (様式 4)
- 研究領域等希望調査書 (様式 5)
- 出願資格審査申請書 (様式 6)

●環境システム専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
資源化学システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エネルギー・環境・資源をはじめとする科学分野に関心を持ち、大学院で修得する知識・論理を基に、化学・環境技術者としてより高い視点から活躍を志す人</li> <li>○大学で学んだ知識を基礎とし、大学院での高度かつ専門的な知識・論理の修得を目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○より専門的な科学技術を学ぶ上で基礎となる化学・環境工学に関する知識を身につけている。</li> <li>○エネルギー・環境・資源に関するより多様かつ専門的な学修のため、大学までに得た知識を応用できる力を身につけている。</li> <li>○日本語あるいは英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エネルギー・環境・資源をはじめとする諸分野における課題の本質を見抜き、その重要度・緊急性に応じて、解決策を講じる優先順位を判断する力を身につけている。</li> <li>○エネルギー・環境・資源をはじめとする諸分野における課題への解決策を、論理的に複数の可能性を考慮した上で導き、それを他者に明確に伝える力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○エネルギー・環境・資源をはじめとする科学分野に強い関心を持ち、多角的・総合的な視点から、自己の向上を志して、積極的に学ぶ意欲と行動力を持っている。</li> <li>○自己の専門・非専門を問わず、他者との協議・討論を通して課題解決の手法を見出し、協働により課題解決ができる力を身につけている。</li> </ul>
バイオシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○化学と生物学を基盤とした、環境・生命・医療などに関する高度な専門的知識の習得を目指している人</li> <li>○環境・生命・医療などの分野における国際的な場で活躍できる高い能力を身につけ、社会に貢献したい人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○バイオシステムに関する専門的知識を獲得する上で必要な生命科学、環境科学に関する基礎学力を有している。</li> <li>○化学・生物・物理実験・調査、数理解析などを通して、環境、社会や生態系に配慮しながら技術開発を進める基本的技能を身につけている。</li> <li>○日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境・生命・医療などの分野における様々な課題を理解し、思考発展させ、得られた結論を適切な方法で表現する能力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境・生命・医療などの分野における諸問題に対して、他者と協力して相互に啓発し合いながら課題解決を図る姿勢を有している。</li> <li>○多様かつグローバルな視点から、社会に貢献しようとする意欲を持っている。</li> </ul>
環境生態システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域やアジア諸国をはじめとする発展途上国における環境社会システム構築のために活躍できる高度専門職業人および研究者を目指している人</li> <li>○持続可能な社会構築のため高度な専門的知識の習得を目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境調査、環境計画、生態系管理の基礎となる自然科学および数理分野の基礎的学力を有し、環境社会や自然共生社会の構築に寄与できる創造的・実践的知識の素養を持っている。</li> <li>○社会・環境フィールド調査、環境シミュレーション、環境マネジメントに関わる専門的スキル・手法を使って問題を解決する能力の素養を持っている。</li> <li>○日本語あるいは英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現実の環境問題に柔軟に対応し、地域・国土のみならず国際環境社会の中で広い視野をもって問題に対処できる思考力と判断力の素養を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境問題に関わる資源、エネルギー、自然生態系、経済、経営などの分野にも関心を持ち、高度な研究を実践する素養を持っている。</li> <li>○地域や企業、行政など関係する機関と協力して環境問題の解決に自律的に取り組む素養を持っている。</li> </ul>

●環境工学専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
機械システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境負荷の低減と経済発展の両立を“持続可能な開発”と捉えるとともに、グローバルな視点を持って活躍できる機械技術者・研究者を目指している人</li> <li>○機械工学に関する高度な専門性を身につけるための努力を惜しまない人</li> <li>○創造力と自主性を備え、先端研究分野に挑戦する意欲を持っている人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機械工学分野の基礎科目を修得しており、より専門的な知識と技術を高めるための基礎学力と適性を有している。</li> <li>○機械技術者・研究者に必要な基本的な教養と倫理観を身につけている。</li> <li>○日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機械工学の課題を論理的に思考、判断して解決するための能力を持ち、自分の考えや課題の検討結果などを他者に的確に伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機械工学に関する課題に対し、主体性を持って多様な人々と協働して取り組むことができる。</li> </ul>
建築デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未来へ繋がる建築を実現できる高度な専門知識と国際的な場で活躍できる高い能力の習得を目指している人</li> <li>○技術の分かるデザイナー、デザインの分かる高度専門職業人および研究者を目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に建築全般に関わる専門知識を有している。</li> <li>○地球環境に配慮した建築、地域・都市の計画、設計、施工、保全、再生などの基本的技能を身につけている。</li> <li>○日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際的および持続可能性の視点をもって様々な課題を抽出し、地球環境に配慮しながら解決方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域や組織の中で他者と協力して相互に啓発しあいながら問題解決に取り組む力を身につけている。</li> <li>○自律的・継続的に学び続ける意欲を持ち、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。</li> </ul>

## ●情報工学専攻

コース名	求める学生像	求める能力		
		①知識・技能	②思考力・判断力・表現力等の能力	③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
計算機科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計算機科学、特に、人工知能、映像・画像処理、ネットワーク、情報セキュリティ、モデリングに関する高度な専門知識と技能の習得を目指している人</li> <li>○ 国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた専門職業人および研究者を目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計算機科学を学ぶために必要な信号処理、情報通信、計測制御、電子・集積回路、ソフトウェア、データ科学などの基本的な知識・技能を身につけている。</li> <li>○ 日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力、情報を読み解く力、表現力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計算機科学分野の課題を解決するために必要な思考力と判断力を持ち、思考・判断の過程と導かれた結論を表現する能力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計算機科学分野の課題について、地域や組織の中で多様な人々と主体的にコミュニケーションをとり、協働して学びながら課題の解決に取り組む態度を持っている。</li> </ul>
融合システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電子・集積回路、計測制御、ソフトウェア、また、これらの融合系であるロボット、生体情報システムに関する高度な専門知識と技能の習得を目指している人</li> <li>○ 国際的な場で活躍できる高い能力を身につけた専門職業人および研究者を目指している人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電子・情報・計測制御工学の融合分野を学ぶために必要な信号処理、情報通信、計測制御、電子・集積回路、ソフトウェア、データ科学などの基本的な知識・技能を身につけている。</li> <li>○ 日本語、英語に基づいたコミュニケーション能力、情報を読み解く力、表現力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電子・情報・計測制御工学の融合分野の課題を解決するために必要な思考力と判断力を持ち、思考・判断の過程と導かれた結論を表現する能力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電子・情報・計測制御工学の融合分野の課題について、地域や組織の中で多様な人々と主体的にコミュニケーションをとり、協働して学びながら課題の解決に取り組む態度を持っている。</li> </ul>

## 1. 実施日程

出願期間	2024年7月16日(火)～7月26日(金) 必着 ※出願資格の事前審査は2024年6月14日(金) 必着
試験日	2024年8月27日(火) (試験開始時刻は11～13 ページ参照)  集合時間：一般選抜は試験開始時刻 30 分前 社会人特別選抜は試験開始時刻 20 分前  ※災害等で試験を予定どおりに実施できない場合は、試験日程の変更を行う可能性があります。試験日程の変更を行う場合は本学のホームページにてお知らせします。  <a href="https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/graduate/env-info.html">https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/graduate/env-info.html</a>
試験会場	北九州市立大学 ひびきのキャンパス (北九州市若松区ひびきの1番1号)
合格発表日	2024年9月6日(金)



## 2. 募集人員

### ◆2024年10月入学

研究科名	専攻名	一般選抜	社会人特別選抜
国際環境工学研究科	環境システム専攻	若干名	若干名
	環境工学専攻	若干名	若干名
	情報工学専攻	若干名	若干名

### ◆2025年4月入学

研究科名	専攻名	一般選抜	社会人特別選抜
国際環境工学研究科	環境システム専攻	(推薦選抜と合わせて) 50名	若干名
	環境工学専攻	(推薦選抜と合わせて) 50名	若干名
	情報工学専攻	(推薦選抜と合わせて) 40名	若干名

### 3. 出願資格

#### ◆2024年10月入学

##### 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は2024年9月30日までに大学を卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は2024年9月30日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は2024年9月30日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は2024年9月30日までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校等において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は2024年9月30日までに授与される見込みの者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は2024年9月30日までに修了見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 本研究科委員会において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2024年9月30日までに22歳に達する者 ※

※出願資格（9）によって出願しようとする場合は事前に出願資格審査を行います。

##### 社会人特別選抜

教育機関又は研究機関・官公庁・企業等（青年海外協力隊、NGO・NPO等における国際協力活動を含む）において、2024年9月30日で2年以上の専門に関する勤務経験を有する者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校等において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 本研究科委員会において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2024年9月30日までに24歳に達する者 ※

※出願資格（9）によって出願しようとする場合は事前に出願資格審査を行います。

## ◆2025 年 4 月入学

### 一般選抜

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は 2025 年 3 月 31 日までに大学を卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者又は 2025 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校等において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は 2025 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は 2025 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 本研究科委員会において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者 ※

※出願資格（9）によって出願しようとする場合は事前に出願資格審査を行います。

### 社会人特別選抜

教育機関又は研究機関・官公庁・企業等（青年海外協力隊、NGO・NPO 等における国際協力活動を含む）において、2025 年 3 月 31 日で 2 年以上の専門に関する勤務経験を有する者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校等において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 本研究科委員会において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2025 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者 ※

※出願資格（9）によって出願しようとする場合は事前に出願資格審査を行います。



## 【出願資格の事前審査について】 ※出願資格（9）に該当する者

本研究科委員会が行う出願資格審査は、出願前に個別に行います。出願資格（9）に該当する方は、以下の要領で必要書類を提出してください。ただし、提出前に必ず希望する研究指導教員と連絡をとってください。

希望する研究指導教員についての相談は 22 ページの《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》を参照してください。

### ア 提出書類 ※提出書類の説明は 8 ページの提出書類関係参照

- 入学願書（様式 1）
- 研究領域等希望調査書（様式 5）
- 入学希望理由書（A 4 サイズ、様式自由）
- 出願資格審査申請書（様式 6）
- 最終学歴の成績証明書 ※  
※日本語及び英語表記でない成績証明書は、必ず日本語または英語に翻訳したものを添付してください。
- これまでの業績や研究内容等を説明できるもの
- 入学後指導を希望する本学教員の研究指導調査書 ※  
※資源化学システムコース、バイオシステムコース志望時のみ、書式任意

### イ 審査受付期間

2024 年 6 月 14 日（金） まで

### ウ 提出・問い合わせ先

北九州市立大学事務局学務課入学試験係

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1 番 1 号

TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

※日本在住の方：提出書類を窓口持参または郵送（速達簡易書留）にて、審査受付期間内に到着するように発送してください。

※海外在住の方：提出書類を審査受付期間内に EMS 等にて発送してください。

また、原本発送前に、PDF 化した提出書類を審査受付期間内に学務課入学試験係へメールに添付して送信してください。

### エ 審査結果の通知

本人にメールにて通知します。

## 4. 出願手続

日本在住の方は、提出書類を窓口持参または郵送（速達簡易書留）にて、出願期間内に到着するように発送してください。

海外在住の方は、提出書類を出願期間内に発送（EMS 等）してください。また、原本発送（EMS 等）前に、PDF 化した提出書類を出願期間内に学務課入学試験係へメールに添付して送信してください。

出願前に必ず希望する研究指導教員と連絡をとってください。

希望する研究指導教員についての相談は 22 ページの《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》を参照ください。

(1) 出願期間 2024 年 7 月 16 日（火）～7 月 26 日（金）

(2) 受付時間（土曜、日曜、祝日を除く）

（窓口受付）平日：午前 8 時 30 分～午後 4 時 00 分（最終日は午後 5 時 00 分まで）

（郵送）2024 年 7 月 27 日（土）以降に郵送により到着したものについては、

2024 年 7 月 25 日（木）までの消印があり、かつ速達簡易書留郵便の場合に限り受理します。

(3) 提出先 北九州市立大学事務局学務課入学試験係

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1 番 1 号

TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

(4) 提出書類関係 (下記参照)

提出書類名	説明
入学願書 (様式 1)	<p>本学所定の様式を用いて、太枠内に必要事項を記入してください。</p> <p>※縦 4cm×横 3cm サイズ、上半身、無帽、無背景、正面向きで、出願前 3 ヶ月以内に撮影したカラー写真の裏面に氏名を記入の上、所定の欄にしっかり貼付してください。</p>
受験票 (様式 2)	<p>太枠内に必要事項を記入してください。</p>
写真票 (様式 3)	<p>必要事項をもれなく記入してください。貼付写真については『入学願書』の説明と同じです。</p>
<p>※日本国内在住者のみ</p> <p>宛名カード (様式 4)</p>	<p>郵便物を受け取れる宛先を楷書で記入してください。</p>
<p>研究領域等希望調査書 (様式 5)</p>	<p>出願する前に、希望する研究指導教員と連絡をとってから作成してください。</p>
<p>入学希望理由書</p>	<p>A 4 サイズで 1 枚程度、様式自由。必ず氏名・志望専攻・コース名を記入してください。</p>
<p>※日本国内在住者のみ</p> <p>受験票送付用封筒</p>	<p>344 円分の切手を貼付した定形封筒 (長形 3 号) に返信送付先宛名を記入したもの。 ※窓口持参の場合も必要</p>
<p>出身大学等の成績証明書</p>	<p>出身大学または在籍している大学が発行した成績証明書を提出してください。</p> <p>※日本語及び英語表記でない成績証明書は、必ず日本語または英語に翻訳したものを添付してください。</p>
<p>出願資格を証明するア.～ウ.のいずれかの書類</p>	<p>ア. 出身大学発行の卒業証明書又は卒業見込証明書 (または在学証明書) (原本または原本証明を提出)</p> <p>※出身大学発行の原本を提出できない場合は、代わりに原本から正しく複製されたものであることを出身大学または大使館、公証役場などの公的機関が証明したものを提出してください。</p> <p>※日本語及び英語表記でない証明書は、必ず日本語または英語に翻訳したものを添付してください。</p> <p>イ. 学校教育法第 104 条第 7 項の規定による学位取得見込み者は、在籍する専攻科の短期大学長または高等専門学校長の発行する下記のいずれかの証明書</p> <p>(1) 専攻科修了見込証明書</p> <p>(2) 学位の授与を申請する予定の証明書</p> <p>ウ. 独立行政法人大学評価・学位授与機構により既に学位を授与されている者は、学位授与証明書</p>
<p>入学検定料 (30,000 円)</p>	<p>郵便局にて 30,000 円の郵便為替を購入し、同封してください。</p> <p>※郵便為替には何も記入しないでください。</p>

提出書類名	説 明
<p>※一般選抜のみ</p> <p>TOEIC(TOEIC L&amp;R)公式認定証、 TOEIC(TOEIC L&amp;R)-IP テストスコアレポート、 TOEFL-iBT スコア レポートのいずれかの 書類</p>	<p>一般選抜出願者は提出してください。</p> <p>出願時から遡って 24 カ月以内に受験して得たものとします。 (5. 選考方法および試験科目参照)</p> <p>①TOEIC(TOEIC L&amp;R)公開テストのスコア利用者は、「Official Score Certificate (公式認定証)」の<b>原本と写し</b>を提出してください。</p> <p>②TOEIC(TOEIC L&amp;R)-IP テスト (団体特別受験制度) のスコア利用者は、「スコアレポート (個人成績表)」の<b>原本と写し</b>を提出してください。 ※本学主催または本学大学生協主催のものに限り認めます。 ただし、オンラインテストのスコアは使用できません。</p> <p>③TOEFL-iBT のスコア利用者は、「<b>受験者用スコアレポート</b>」の<b>原本と写し</b>を提出してください。 ※TOEFL-iBT のスコアは、必ず「<b>受験者用スコアレポート</b>」を提出してください。「公式スコアレポート」は受け付けません。</p> <p>【その他】 ※提出された原本は、後日返却します。 ※①～③すべてを提出することも可能ですが、その場合は、提出されたもののうち得点の高いものを採用します。 ※出願時に①～③の提出が間に合わない場合は、代わりにその<b>受験票の写しを提出の上、試験日の 7 日前 (土曜、日曜、祝日を除く) までに①～③のいずれかの原本と写しを提出</b>してください。 ※出願時にスコアを提出しているもの限り、試験日の 7 日前 (土曜日、日曜日、祝日を除く) までに高得点のスコアを提出することで、スコアの更新ができます。</p>
<p>※外国籍の方のみ</p> <p>住民票または パスポートの写し</p>	<p>外国籍の出願者は提出してください。</p> <p>日本国内在住者：住民票の原本 (コピー不可) (出願前 1 ヶ月以内に発行したもので、在留資格及び在留期間が記載されたもの) 海外在住者：パスポートの写し (顔写真及び有効期限が記載されたページ)</p>
<p>※社会人特別選抜のみ</p> <p>在職証明書</p>	<p>社会人特別選抜出願者は提出してください。</p> <p>勤務先が発行したもの (様式任意) ※勤続経験 2 年以上であることが証明できるもの ※日本語または英語以外で記載されている在職証明書は、日本語または英語に翻訳したものを添付してください。</p>

## 【出願上の注意】

- ・出願受付後は、いかなる事情があっても出願内容の変更及び入学検定料の返還には応じられません。
- ・虚偽の記載があった場合は、たとえ合格しても入学許可を取り消します。
- ・いったん正当に受理した出願提出書類等は返却できません。
- ・出願資格要件を満たす見込みで受験し合格した者が、次の期間までに所定の要件を満たすことができなかつた場合は、入学許可を取り消します。

2024 年 10 月入学 : 2024 年 9 月 30 日まで

2025 年 4 月入学 : 2025 年 3 月 31 日まで

## 【身体に障害を有する場合等の受験上の特別措置について】

身体に障害を有するなど、受験上及び就学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に相談のうえ出願 2 週間前までに必要書類を添えて申し出てください。審査の結果、必要と判断された措置の内容を通知しますので、その通知書を添えて出願いただくこととなります。

《問い合わせ先》 北九州市立大学事務局学務課入学試験係  
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1 番 1 号  
TEL: 093-695-3340 E-mail: nyushi@kitakyu-u.ac.jp

## 【入学検定料の免除について】

北九州市立大学では、令和 6 年能登半島地震に伴う被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学機会の確保を図るため、2024 年度に実施する入学試験において、次のとおり入学検定料免除の特例措置を実施しています。

連絡先 : 北九州市立大学事務局学務課入学試験係 TEL: 093-695-3340  
ホームページアドレス  
<https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/tuition/absolution.html>



## 【個人情報の取扱いについて】

本学が所有する個人情報は、関係法規に基づき慎重に取扱い、以下の目的以外で利用すること、または第三者に提供することはありません。

- ・志願者の氏名、生年月日、連絡先などの個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続、調査研究及びこれらに付随する業務の遂行に利用します。
- ・合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前指導、入学後の教務関係、学生支援関係、授業料徴収関係などに関する業務のために利用します。

## 5. 選考方法および試験科目

### 【選考方法】

試験科目結果、出願書類等を総合して行います。

なお、社会人特別選抜の選考については、社会人としての経歴・研究歴および研究内容を特に重視した選考を行います。

### 【試験科目】

#### ◆環境システム専攻

##### ○資源化学システムコース

###### 《一般選抜》

試験科目	試験時間
英語（注1）	—
専門科目（環境資源工学、化学から1科目選択） （注2・注3）	10：30～12：00
面接	13：00～

（注1）TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたはTOEFL-iBTスコアの提出を課します。

（注2）関数電卓を使用できますが、試験当日に本学が貸与する物のみ使用可能です。

（注3）専門科目は「環境資源工学」、「化学」から1科目を選択してください。

※入学願書（様式1）で選択できます。

###### 《社会人特別選抜》

試験科目	試験時間
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （プロジェクトによる発表形式）	10：00～

##### ○バイオシステムコース

###### 《一般選抜》

試験科目	試験時間
英語（注）	—
口頭試問・面接（卒業研究のテーマとこれまでの成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （プロジェクトによる発表形式）	13：00～

（注）TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたはTOEFL-iBTスコアの提出を課します。

###### 《社会人特別選抜》

試験科目	試験時間
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （プロジェクトによる発表形式）	10：00～

## ○環境生態システムコース

### 《一般選抜》

試験科目	試験時間
英語（注）	—
専門科目（環境マネジメント）	10：30～11：30
口頭試問・面接	13：00～

（注）TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたは TOEFL-iBT スコアの提出を課します。

### 《社会人特別選抜》（注）

試験科目	試験時間
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （プロジェクトによる発表形式）	10：00～

（注）志願者数によっては、面接開始時間に変更となる可能性があります。

## ◆環境工学専攻

### ○機械システムコース

#### 《一般選抜》

試験科目	試験時間
英語（注）	—
専門科目（材料力学・機械力学・流体力学・熱力学）	10：30～12：30
面接	14：00～

（注）TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたは TOEFL-iBT スコアの提出を課します。

#### 《社会人特別選抜》

試験科目	試験時間
口頭試問・面接	10：00～

### ○建築デザインコース

#### 《一般選抜》

試験科目	試験時間
英語（注1）	—
口頭試問（注2）・面接	14：00～

（注1）TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたは TOEFL-iBT スコアの提出を課します。

（注2）口頭試問は、建築の専門科目及びこれまでの研究や大学院での研究計画に関連した質疑応答を行います。

※建築計画・設計系の志願者は面接時にポートフォリオ(これまでの課題・コンペ作品や活動記録をファイルにまとめたもの。書式・形式自由)を持参してください。

《社会人特別選抜》

試験科目	試験時間
口頭試問（注3）・面接 （プロジェクトによる発表形式）（注4）	10：00～

（注3）口頭試問は、これまでの研究や大学院での研究計画に関連した質疑応答を行います。  
（注4）発表に必要なパワーポイント及びPDFのデータを用意してください。

◆情報工学専攻

- 計算機科学コース
- 融合システムコース

《一般選抜》

試験科目	試験時間
英語（注1）	—
数学（線形代数、微分・積分、常微分方程式、確率・統計の範囲から出題）（注2）	10：30～12：30
面接（注3）	14：00～

（注1）TOEIC(TOEIC L&R)スコアまたはTOEFL-iBTスコアの提出を課します。  
（注2）EMaT（工学系数学統一試験）の出題範囲に準じます。  
（注3）卒業研究およびそれに関する基礎知識の口頭試問を実施する場合があります。

《社会人特別選抜》

試験科目	試験時間
口頭試問・面接（これまでの研究成果の発表および当大学院での研究計画の発表を含める） （プロジェクトによる発表形式）（注4）	10：00～

（注4）発表に必要なパワーポイントデータを用意してください。

## 6. 試験会場

北九州市立大学 ひびきのキャンパス（北九州市若松区ひびきの1番1号）

※主要交通機関：北九州市営バス、西鉄バス

- JR 折尾駅バス停より乗車（約20分）⇒ 学研都市ひびきのバス停下車




## 7. 受験上の注意

- (1) 受験には必ず受験票を持参してください。受験票が試験日の3日前までに未着の場合は、学務課入学試験係にお知らせください。(nyushi@kitakyu-u.ac.jp)
- (2) 遅刻は、試験開始後20分までに試験室に入室した者に限り認めます。ただし、面接の遅刻は認めません。
- (3) 定期に運行している公共交通機関の大幅な遅れにより試験開始時刻に遅刻した場合は、所定の試験時間を確保して試験を行います。その際、公共交通機関を利用したことの証明のため、乗車時刻、到着時刻等をあらかじめメモしておいてください。
- (4) 筆記具、腕時計（計算機能、翻訳機能、辞書機能等の多機能時計は厳禁）を持参してください。貸し出しは一切できません。
- (5) 自家用車でのご来場は固くお断りします。
- (6) 試験当日は、キャンパス内の案内表示に従ってご来場ください。

## 8. 合格発表

下記日時に、合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者のみに合格通知書を送付します。なお、受験者本人であっても、電話による可否に関する照会には一切応じられません。

合格発表日時	2024年9月6日（金）午前10時頃
合格発表場所	北九州市立大学ホームページ <a href="https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/pass-information.html">https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/pass-information.html</a>



## 9. 入学手続

入学手続に関する詳細については「合格通知」送付の際にお知らせします。

2024年10月入学者入学手続期間	2024年9月9日（月）～9月12日（木）
2025年4月入学者入学手続期間	2025年1月20日（月）～1月23日（木）

(注1) いったん納入された入学金は、いかなる理由があっても返還できません。

(注2) 期間内に入学手続を完了しなかった場合は、入学辞退として取扱います。

理由のいかんを問わず、入学手続期間の延長は行いません。

(注3) 期間内に、入学金の納入、必要書類の提出を完了した者に入学を許可します。

(注4) 入学手続には、受験票が必要です。大切に保管しておいてください。



## 10. 入学に関する経費（注1）

種 別	金 額	備 考
入 学 金	北九州市内居住者 282,000 円	(注2)
	北九州市外居住者 423,000 円	
同 窓 会 費	50,000 円	本学卒業生で、既に納めている方は不要
後 援 会 費	20,000 円	(注3)
学生教育研究 災害傷害保険料	2 ヶ年分 1,750 円	
学研災付帯 賠償責任保険料	2 ヶ年分 680 円	

(注1) 経費は現行（2024年度入学者）の金額です。変更されることがあります。

(注2) 北九州市内居住者とは、入学する本人又はその配偶者もしくは2親等内の親族が、入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は、市民税非課税者）であり、かつ入学金納入のときまで引き続き北九州市内に住所を有する者をいいます。なお、「入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は、市民税非課税者）」であるためには、2024年10月入学者は2023年1月1日現在、2025年4月入学者は2024年1月1日現在北九州市に在住していることが必要です。  
※同窓会費・後援会費・保険料については、入学の必須条件ではありません。

(注3) 本学学部在籍中に後援会費を納めた人が、引き続き本学の博士前期課程に入学する場合の後援会費は15,000円です。

### 11. 授業料

年間授業料 535,800 円

- (1) 現行の金額です。在学中に授業料及び納入方法等の改定が行われた場合には、改定時から適用されます。
- (2) 授業料は、納入期限日（当日が金融機関休業日の場合は、翌営業日）に口座振替で納入していただきます。

### 12. 長期履修学生制度

国際環境工学研究科では、社会人学生の支援として長期履修学生制度を導入しています。長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情によって、標準修業年限を超えて、計画的に教育課程を履修する事を認める制度です。博士前期課程においては2年・博士後期課程においては3年を限度とし、1年単位で延長が認められます。

この制度を適用する学生の授業料総額は、標準修業年限で卒業する学生が納める授業料総額と同額になります。

### 1 3. 安全保障輸出管理について

北九州市立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「北九州市立大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

### 1 4. その他

#### 《入学に際しての留意事項》

入学手続き後に在留資格が「留学」でない場合は、速やかに法務省入国管理局で在留資格を「留学」に変更してください。なお、在留資格が「留学」でない場合は、留学生に対する各種奨学金の対象にならないことがあります。

## 《授業科目の概要》

**博士前期課程** 修了に必要な単位は 30 単位以上

《内訳》

- ・ 共通科目と基礎科目から 4 単位以上。ただし、共通科目から 2 単位以上
- ・ 専門科目から 18 単位以上
- ・ 特別研究科目 8 単位（特別研究）

## 【各専攻共通科目】

《共通科目》（各 2 単位）
企業環境マネジメント論
知的財産の生産と活用
Academic Presentation I
Academic Presentation II
安全倫理（注 1）
環境原論
起業家精神とスタートアップ
学外特別研修（インターンシップ）

（注 1）環境生態システムコースでは、専門科目となります。

## 【環境システム専攻】

資源化学システム	<b>《基礎科目》 (各 2 単位)</b>
	資源化学システム基礎Ⅰ (化学プロセス)
	資源化学システム基礎Ⅱ (先進マテリアル)
	資源化学システム基礎Ⅲ (環境プロセス)
	<b>《専門科目》 (各 2 単位)</b>
	エネルギー化学
	化学反応工学
	無機材料工学
	触媒反応化学
	分光分析論
	分離精製工学
	固体材料化学
	プロセス設計学
	先端材料システム
	高分子材料化学
	環境化学
	大気環境工学
	資源循環技術
	水圏環境工学
	地圏環境修復
	リサイクル工学
	アジアの環境問題
	省資源衛生工学
	資源化学システム特論Ⅰ
資源化学システム特論Ⅱ	
バイオシステム	<b>《基礎科目》 (各 2 単位)</b>
	バイオシステム基礎Ⅰ (生命材料工学)
	バイオシステム基礎Ⅱ (生物生態工学)
	<b>《専門科目》 (各 2 単位)</b>
	環境生物学
	高分子物性論
	計算化学
	生体材料論
	生態システム論
	生物センサー工学
	微生物機能学
	環境応答生理学
	バイオシステム特別講義
	バイオシステム講究Ⅰ
	バイオシステム講究Ⅱ
	分子細胞生物学

環境生態システム	《基礎科目》（各2単位）
	環境生態システム基礎
	《専門科目》（各2単位）
	環境経済論
	エネルギー環境工学
	環境経営システム論
	環境情報システム論
	都市環境評価・計画論
	安全倫理
	健康リスク学
	アジアの環境問題
	省資源衛生工学
	環境生物学
	微生物機能学
	環境応答生理学
	生態システム論
	持続可能発展論
《特別研究科目》（8単位）	
特別研究	

## 【環境工学専攻】

機械システム	《基礎科目》（各2単位）
	機械システム基礎Ⅰ（エネルギーシステム）
	機械システム基礎Ⅱ（設計加工システム）
	《専門科目》（各2単位）
	流体力学特論
	燃焼工学特論
	流動光計測特論
	伝熱工学特論
	熱力学特論
	制御工学特論
	メカトロニクス特論
	設計工学特論
	加工学特論
	材料力学特論
	機械要素設計特論
	システム工学特論
	機械力学特論
先端工学特論	
建築デザイン	《基礎科目》（各2単位）
	建築デザイン基礎Ⅰ（居住環境設計学）
	建築デザイン基礎Ⅱ（環境空間構造保全工学）
	建築デザイン基礎Ⅲ（都市建築エネルギー学）
	《専門科目》（各2単位）
	建築デザインプログラム
	環境共生都市づくり論
	世代間建築特論
	環境空間設計学
	建築生産管理論
	環境調和型材料工学特論
	構造解析学
	建築材料特論
	建築構造設計
	耐震構造学
	環境設備システム論
	建築・都市エネルギー論
	音と光の環境デザイン特論
	熱と空気の環境デザイン特論
	建築エンジニアリングプラクティス
	建築実務インターンシップ（4単位）
	低炭素建築都市デザイン論
《特別研究科目》（8単位）	
特別研究	

## 【情報工学専攻】

《専門科目(コース共通)》 (各 2 単位)	
情報セキュリティ論	
パターン認識応用	
適応信号処理	
システム制御理論	
動的システム論	
組み合わせ最適化論	
スパースモデリング	
ソフトウェア工学概論	
ソフトウェア検証論	
ソフトコンピューティング	
組込みソフトウェア	
視覚情報処理	
感覚測定概論	
行動解析	
計算機科学	《基礎科目》 (各 2 単位)
	計算機科学基礎 (計算機科学)
	《専門科目》 (各 2 単位)
	ネットワークアーキテクチャ
	画像処理
	情報通信論
	信号解析
融合システム	《基礎科目》 (各 2 単位)
	融合システム基礎 (融合システム)
	《専門科目》 (各 2 単位)
	医用工学基礎
	テスト容易化設計
	VLSI 物理設計
	移動通信
組込みハードウェア	
《特別研究科目》 (8 単位)	
特別研究	

## 《各専攻における履修コースの教育研究内容・研究指導教員》

希望する研究指導教員については、各コース長にご相談ください。  
コース長のメールアドレスは以下の通りです。

### 《問い合わせ先》

#### ○環境システム専攻

資源化学システムコース	shigen@kitakyu-u.ac.jp
バイオシステムコース	biosys@kitakyu-u.ac.jp
環境生態システムコース	envsys@kitakyu-u.ac.jp

#### ○環境工学専攻

機械システムコース	kikai@kitakyu-u.ac.jp
建築デザインコース	kenchiku@kitakyu-u.ac.jp

#### ○情報工学専攻

計算機科学コース	jyohou@kitakyu-u.ac.jp
融合システムコース	



## 環境システム専攻

### 【資源化学システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
藍川 昌秀 AIKAWA Masahide	大気科学、大気化学、大気汚染・酸性沈着に関する研究 大気汚染物質と降水の物理化学的相互作用に関する研究
秋葉 勇 AKIBA Isamu	高分子材料の合成に関する研究 合成高分子の構造と物性に関する研究
今井 裕之 IMAI Hiroyuki	ナノスケールの空間を機能化した材料の開発および化学反応への応用 多様な炭素資源から化学品製造のための反応プロセスの設計
郡司 貴雄 GUNJI Takao	燃料電池用電極触媒の開発、電気化学的 CO <sub>2</sub> 還元反応、光触媒用助触媒の研究
菅原 一輝 SUGAWARA Kazuki	生物機能を活用した汚染環境の浄化に関する研究 生物-環境間の相互作用および元素・物質動態の解明
寺嶋 光春 TERASHIMA Mitsuharu	水資源循環利用プロセスの研究開発 用排水処理システムのモデル化とシミュレーション
寺本 高啓 TERAMOTO Takahiro	超短パルスレーザーを用いた超高速分光による次世代太陽電池、スピントロニクスデバイスの光誘起超高速ダイナミクスの解明
西浜 章平 NISHIHAMA Syouhei	有価廃棄物からのレアメタルの分離回収プロセス 水中の有害汚染物質の分離除去プロセス
宮脇 崇 MIYAWAKI Takashi	化学物質の網羅的分析手法の開発 化学物質の環境動態及びリスク評価に関する研究
安井 英斉 YASUI Hidenari	排水・廃棄物・用水の処理プロセスに関する研究開発 生物反応のコンピューティングと数学モデルの研究開発
山本 勝俊 YAMAMOTO Katsutoshi	多孔質材料の開発と触媒への応用 有機-無機ハイブリッド型多孔体の創製
李 丞祐 LEE Seung-Woo	機能性ナノ材料、先端計測デバイスの開発 生体低分子・揮発性代謝物に基づいたナノ医療工学

【バイオシステムコース】

教員名	研究テーマ・領域
磯田 隆聡 ISODA Takaaki	新しいバイオセンサーの開発と応用：1. 食品衛生のための微生物センサ、2. ウイルス・感染症の迅速検査
伊藤 理彩 ITO Lisa	1. サンゴ礁の島における重金属汚染などの環境問題 2. 製品中に含まれる化学物質の国境を越えた移動（大気を媒介とした越境汚染も含む）と生態系への影響 3. 環礁の表層堆積物の土壌化と硝化細菌の関係
上江洲 一也 UEZU Kazuya	生物の特異的応答を利用した新規バイオセンサーの創製 細胞内情報経路を標的としたリン酸化タンパク質分離材料の創製計算法的アプローチによる分子認識材料の設計 生態系への影響を大幅に低減した林野火災用泡消火剤の開発
河野 智謙 KAWANO Tomonori	環境と生物との相互作用と光合成（天然・人工）をテーマに国際連携・産学連携に取り組んでいます。
木原 隆典 KIHARA Takanori	骨石灰化形成機構の解明 平滑筋細胞の形質転換機構の解明 細胞の物理的性質の解析とそのシミュレーション
中澤 浩二 NAKAZAWA Koji	細胞パターンニング技術および細胞マイクロチップの開発 培養微小環境と細胞分化特性の解析
望月 慎一 MOCHIZUKI Shinichi	薬物送達システム（DDS）の開発 新規がんワクチンの開発 アジュバントに関する研究
森田 洋 MORITA Hiroshi	地域農作物の生理的機能性と新規用途開発 室内カビ・ダニの新規制御法に関する研究 混合培養麹による清酒醸造に関する研究 液体麹による酒類醸造に関する研究
柳川 勝紀 YANAGAWA Katsunori	難培養性微生物の生理・生態学 生物地球化学的物質循環 環境動態解析

【環境生態システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
浦西 克維 URANISHI Katsushige	大気質モデルや PMF モデル等を用いた大気環境についての調査・研究
加藤 尊秋 KATO Takaaki	環境政策の評価、社会的なリスク削減のための管理、教育、訓練手法
辻井 洋行 TSUJII Hiroyuki	企業環境経営に関する研究
藤山 淳史 FUJIYAMA Atsushi	エネルギーマネジメントシステムに関する研究 環境分野での情報技術の活用に関する研究
松本 亨 MATSUMOTO Toru	循環型社会形成に向けた都市・社会システムの設計・評価に関する研究 アジアの都市環境マネジメントに関する研究

## 環境工学専攻

### 【機械システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
池田 卓矢 IKEDA Takuya	ネットワーク系の最適化理論およびデータ駆動制御理論に関する研究
井上 浩一 INOUE Koichi	次世代宇宙機用沸騰・二相流熱システムに関する基礎研究 発電用熱交換器の高性能化に関する研究 電子機器の冷却技術に関する研究
岡田 伸廣 OKADA Nobuhiro	画像を用いる三次元計測を中心としたロボット・メカトロニクス技術の開発とその応用に関する研究 複数の自己組織化マップの協調学習に関する研究
小田 拓也 ODA Takuya	再生可能エネルギーの大量導入に伴う需給調整課題に関する研究 エネルギー需要を能動化するエネルギーマネジメント技術の開発
清田 高德 KIYOTA Takanori	安全で省エネルギーな機械システム制御法の開発と応用に関する研究 パワーアシストシステムの開発
佐々木 卓実 SASAKI Takumi	構造非線形および材料非線形を利用した除振要素に関する研究 機械・構造物のための振動抑制技術の開発
趙 昌熙 CHO Changhee	生体機械工学、バイオトライボロジーに関する研究 臨床用人工関節の長寿命化・高性能化に関する研究
長 弘基 CHO Hiroki	形状記憶合金の物性研究 形状記憶合金を用いたアクチュエータおよび医療・福祉機器の研究開発
仲尾 晋一郎 NAKAO Shinichiro	衝撃波と境界層の干渉流れ場の CFD 解析に関する研究 衝撃波を伴う流れ場へのレーザー干渉法の適用に関する研究
宮國 健司 MIYAGUNI Takeshi	垂直軸マイクロ風車の高性能化に関する研究 可動式堰を付加した双胴式水面清掃船に関する研究
宮里 義昭 MIYAZATO Yoshiaki	超音速流れに対するレーザー干渉法とレインボーシュリーレントモグラフィ計測法の適用に関する研究
村上 洋 MURAKAMI Hiroshi	極小径光ファイバプローブを用いた微細三次元形状精度測定装置の開発 工作機械の知能化に関する研究 工具状態監視機能を有する超高速マイクロエアタービンスピンドルの開発
吉山 定見 YOSHIYAMA Sadami	イオンセンサを用いた燃焼センシング法の開発と応用に関する研究 排熱回収システムに用いる熱サイクルに関する研究

## 【建築デザインコース】

教員名	研究テーマ・領域
安藤 真太郎 ANDO Shintaro	超高齢化社会に対応する虚弱予防型住環境の検証 健康寿命を延伸するコミュニティに関する研究
高 偉俊 GAO Weijun	建築・都市環境・計画・設計 建築・都市エネルギー・資源計画 アジア都市環境の研究
城戸 將江 KIDO Masae	鋼およびコンクリート充填鋼管構造の耐震設計法 鋼およびコンクリート充填鋼管構造の安定設計法
小山田 英弘 KOYAMADA Hidehiro	建築物および建設工事中の安全 建築物の維持管理と各種建築材料の再利用 暑中コンクリート工事
白石 靖幸 SHIRAISHI Yasuyuki	建築都市空間における温熱・空気環境制御 建築設備一体化技術の最適制御 複合物理モデリングを活用した建築設備の最適設計
陶山 裕樹 SUYAMA Hiroki	産業廃棄物の建材リサイクル コンクリートの物性に影響を与える粉体混和材の因子 コンクリートの外観の定量化
高巢 幸二 TAKASU Koji	カーボンネガティブセメントフリーコンクリートの研究 自己治癒型低炭素ジオポリマーコンクリートに関する研究 再生材料等を複合混合した高性能コンクリートの研究 建築材料としての副産物系粉体の改質技術の開発
デワンカー バート DEWANCKER Bart	都市計画に関する研究 環境共生建築・都市デザインに関する研究 ランドスケープ、都市及び建物緑化に関する研究
福田 展淳 FUKUDA Hiroatsu	建築デザイン、歴史的建築物に関する研究 建築計画学、都市計画学 低環境負荷のための建築設計・都市環境設計
福田 裕美 FUKUDA Yumi	生体リズムを整える光のスペクトルデザインに関する研究 照明と視覚の発達との関係性についての研究 パブリックスペースの照明計画に関する研究
保木 和明 HOKI Kazuaki	鉄筋コンクリート構造 既存建物の耐震性評価法・補強設計法 耐震工学

## 情報工学専攻

### 【計算機科学コース】

教員名	研究テーマ・領域
伊藤 友輔 ITO Yusuke	次世代ネットワークアーキテクチャにおける資源割当・管理、スケジューリングに関する研究
上原 聡 UEHARA Satoshi	情報理論、符号理論、情報セキュリティ：数学的背景に基づく符号の構成法や性能評価に関する研究
古閑 宏幸 KOGA Hiroyuki	コンピュータネットワークのアーキテクチャや構築・運用技術、トラヒックエンジニアリング技術に関する研究
孫 連明 SUN Lianming	制御と信号処理分野において、数学モデルを構築するシステム同定の方法論、制御系設計と適応信号処理への応用に関する研究
藤本 悠介 FUJIMOTO Yusuke	動的システムの制御と推定。特に、システム同定の機械・音響への応用およびデータ駆動制御の理論・実践
松岡 諒 MATSUOKA Ryo	数理モデリング、人工知能、最適化／凸解析技術を基礎にした、信号処理、画像処理、コンピュータビジョンに関する研究
山崎 恭 YAMAZAKI Yasushi	生体認証（バイオメトリクス）を主要テーマとした、安心・安全・便利をキーワードとする情報セキュリティ、パターン認識に関する研究開発

【融合システムコース】

教員名	研究テーマ・領域
佐藤 雅之 SATO Masayuki	心理物理学の実験手法を用いた人間の視覚情報処理メカニズムの解明、特に、両眼立体視による空間知覚、眼球運動時の視野統合機構に関する研究
杉原 真 SUGIHARA Makoto	VLSI や組込システムを対象とした設計技術に関する研究、及び自動車 IT システム設計技術に関する研究
高島 康裕 TAKASHIMA Yasuhiro	最適化アルゴリズム、VLSI 設計自動化技術、量子アルゴリズムを含む高性能計算アルゴリズム実装
玉田 靖明 TAMADA Yasuaki	VR 技術開発とスマート視機能検査のための心理物理学的な研究
中武 繁寿 NAKATAKE Shigetoshi	アナログとデジタル混載集積回路の自動設計技術、低電力化技術、及び医療・防災分野におけるセンサシステムの集積技術に関する研究
西田 健 NISHIDA Takeshi	ロボットの知能化技術、仮想空間と現実空間の連動により AI を高速化する技術、機械学習によるロボット制御技術に関する研究
早見 武人 HAYAMI Takehito	電気・光を用いた神経機能に関わる医用検査、手術支援、治療技術、及び人間の行動特性を調べるための心理学機器の研究
藤澤 隆介 FUJISAWA Ryusuke	群知能および群ロボットの制御に関する研究 生物の外界認識機能に関する研究 機械学習を用いた識別に関する研究
松田 鶴夫 MATSUDA Tsuruo	生体情報獲得 メカトロニクス制御 脳神経磁気・電気刺激 リハビリテーション応用技術 等に関する研究
山崎 進 YAMAZAKI Susumu	1. 宇宙探査車・人工衛星向けのコンピュータシステムとソフトウェア 2. 領域特化アーキテクチャ 3. 並列プログラミング言語処理系 4. エッジ・コンピューティング